

東京家政学院高等学校 同窓会報



あづまだより

2026年4月号

発行所

東京家政学院高等学校 あづま会

〒102-8341 東京都千代田区三番町22番地

電話 / Fax 03(3288)2623

https://www.kasei-gakuin.ed.jp/graduate/ob_aduma.html

Eメール adumakai@kasei-gakuin.ac.jp

発行人 高橋 公三子



会員の皆様へ

あづま会会長

高橋 公三子

この度、東京家政学院高等学校同窓会「あづま会」の第11代会長を、2025年度の総会でご承認いただきました高橋公三子でございます。澤田三和子会長の後任として、歴史と伝統のあるあづま会の会長という大役をお引き受けすることになり、身の引き締まる思いとともに、その責任の重さを深く感じております。

私が高等学校を卒業して早50余年になります。当時の学び舎の記憶には、校門を入ると、中庭の中央に創立者大江スミ先生の胸像があり、登校する私たちを温かな眼差しで迎え入れてくださいました。そして、当時6号館の教室の窓からは、三番町の家並みが広がり、遠くには美しい富士山を眺めることができました。

久し振りに訪れた校地は、大きく変化してまいりました。校舎へのアプローチには美しい花が植えられ、門を入ると、校章のバラの花がかたどられたステンドグラス風の美しい壁面があり、女子校らしい愛らしさと優しさが、ここで学ぶ生徒や学生の皆さまを温かく包み込んでくれているようです。

時代の趨勢と共に、周囲には大小のビルが林立し、校舎の配置にも変化が見られます。私たちの目に映るものは大きく変わりますが、一方で変わらないものも数多くあります。それは、私たちの青春のただ中に培われたKVA精神です。多くの楽しい思い出や記憶は、卒業生それぞれの生き方や価値観の土台となり、普遍的なものとして私たちの心の支えとなっています。

当時、生徒文集として発行された「きざし」という冊子がありました。「きざし」は階段を意味しますが、「きざし」は一定の間隔で区切られて「刻む」を意味し、「はし」は「はしご」のように、一方から他方へかけ渡すものを指すとされており、この言葉のように「あづま会」においても、設立から82年間の長い年月のなかで、一段ずつ階段を上るように進み、先輩から後輩へと受け継がれてきた会員の皆さまの力を賜りながら、同窓会のさらなる発展に努めてまいりたいと存じます。

「あづま会」の名前は、大江スミ先生が東から太陽が昇るように、輝かしい発展と共に、太陽のように明るく心豊かな人々の集まりであるようにとの願いを込めて名付けられたと伺っております。

中学校・高等学校は、来年度より法政大学の系列校となり大きな変化の時を迎えます。時代とともに学校の在り方は移り変わりますが、卒業生が集う同窓会は、これからも「あづま会」として変わることなく歩み続けてまいります。そして、「きざし」の名のごとく、一歩一歩着実に歩みを重ねてまいりたいと存じます。

今後は、あづま会の伝統と、多くの卒業生を育んできた東京家政学院の歴史を大切にしつつ、校名の変化を越えて、新たな会員の皆さまにとっても親しみやすく、交流の広がる同窓会を目指してまいります。

皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

2026年
あづま会総会・懇親会のご案内

昨年は、メジャーリーグでは二刀流大谷翔平選手の活躍、今年には、ミラノコレティナ冬季オリンピックでのアスリート達の活躍に誰もがテレビに釘付けになり楽しく感動した年でした。いよいよ2026年あづま会総会・懇親会の時期になりました。開催日は2026年5月31日(日)、場所は1号館4階大江スミ記念ローズホールで行います。

総会後、懇親会・ジョイント同期会を開催いたします。懐かしいご友人方と歓談しお食事をお楽しみ下さい。またその後は毎年恒例のくじ引きコーナーを予定しております。沢山の景品をご用意しておりますのでご期待ください。

終了後にはあづま会役員のご案内で校内見学を予定しております。在校生の皆さんがどの様な環境で学んでいるのか、ご自身の卒業生の方々の活躍が素晴らしいですね。日本初の女性首相を始め女性活躍がますます輝き嬉しく思います。

最後にジョイント同期会の幹事様(卒業後50年、40年、30年)にはご多忙のところ多大なご協力を頂きこちらの誌面にてお礼を申し上げます。参加申し込みは同封の払込取扱票にてお振り込み下さい。

ジョイント同期会以外の方でもご参加をお待ちしております。久し振りに市ヶ谷でブラブラ散策してみたいいかがでしょうか?何かに出会うかもしれませんね。

日時:	2026年5月31日(日) 受付 10時半より 総会 11時より 懇親会 12時~14時
会場:	千代田区三番町22番地 東京家政学院1号館4階 大江スミ記念ローズホール
総会議事:	・2025年度事業、会計報告 ・2025年度会計監査報告 ・2026年度事業案、会計予算案 ・その他
懇親会費:	4,000円
5月15日(金)までに払込取扱票で郵便局にてお振込み下さい。	
ご入金を持って懇親会のご出席とさせていただきます	
当日参加は、ご遠慮ください。また、お振込み後の返金は致しかねます。	
懇親会終了後に校内見学を予定しております。(20分程度)	

2026年同期会幹事の方々

高校卒業年	幹事氏名	敬称略()内は旧姓
昭和51年卒	鈴木茂子	津幡敬吉(吉田)
	友田真由美	(渡辺)
昭和61年卒	須藤あおい	磯谷千寿子(足立)

理事長ご挨拶

学校法人東京家政学院

理事長 吉武 博通



『伝統を礎に新たな歴史を歩む』

学校法人東京家政学院は、学校法人法政大学との間で築いてきた協力関係を強化し、共に長い歴史を有する伝統校として、それぞれの強みを活かしながら、連携して発展を目指していくことになりました。

これにともない、2027年4月に東京家政学院中学校・高等学校の校名を「法政大学千代田三番町中学校・高等学校」（予定）に変更し、法政大学の系列校とします。また、今後適切な時期に男女共学化することも検討したいと思っております。

本校は、2000年代に入ってから定員を大きく割り込む状況が続いています。ここ数年は多少の回復も見られ、文部科学大臣賞の受賞、様々な分野での生徒の活躍など、誇るべき成果も現れています。施設・設備などの環境を整え、教育内容を一層充実させていくためには、学校自体を大きく変えていく必要があります。

現在約11万人の18歳人口は、10年間で10万人減少し、2034年に100万人になることが確実です。それがさらに10万人減少して90万人になるまでに3年、80万人までは2年、70万人までも2年と、減少スピードが一気に加速します。いわゆる

校長先生新任ご挨拶

東京家政学院中学校・高等学校

校長 和仁 達郎



はじめてご挨拶を申し上げます。前校長佐野金吾先生の御退任の後、2026年度より東京家政学院中学校・高等学校の校長に就きました和仁達郎と申します。

あづま会は卒業生1万7千人が集う同窓会として発展されており、一昨年度に設立80周年を迎えられたときいております。あづま会の長い歴史とそれを支える皆さまの御努力に深い敬意を表します。そして、本校の教育活動への皆さまの御理解と御支援に心より御礼申し上げます。

さて去る3月25日に発表されました通り、学校法人東京家政学院と学校法人法政大学は「学校法人間の連携強化に関する基本合意書」を締結し、大学間の教育連携を推進するとともに、2027年4月から東京家政学院中学校・高等学校を法政大学の系列校として、校名を「法政大学千代田三番町中学校・高等学校」に変更する予定となりました。

このことは中学校・高等学校のこれまでの歴史と伝統を踏まえ、その教育の成果を未来社会に向けて発展させるため、学校法人東京家政学院がとる積極的な選択だと理解しております。東京家政学院の建学の理念であるKVA精神を法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」に融合させ、「未来を切りひらく創造的な人を育てる中学

「2025年の崖」です。15歳人口はその3年前、12歳人口はその6年前に「崖」を迎えます。私は様々な場において「日本の大学に残された時間は5年。5年間に変革を成し遂げないと未来はない」と訴えてきました。この点は国公私立を問わず、規模の大小を問わず何ら変わるものではありません。

法政大学とは、千代田区と町田市の近接地にキャンパスを有する大学同士として単位互換などの連携を行ってきました。また、本学院のKVA精神と法政大学憲章「自由を生き抜く実践知」は根本において理念を共有していると考えています。今後は、法政大学との間で中学・高校・大学連携の取組を充実させ、法政大学への進学の面でも連携を強化することになります。

その陣頭指揮をお願いするのが、この3月末で任期満了を迎える佐野金吾校長の後任の和仁達郎先生です。和仁先生は法政大学女子高等学校で校長を務め、共学化・改称した現在の法政大学国際高等学校でも校長を務められた、豊富な経験を有する方です。

学校名は変わりますが、今回の連携により本校開校以来の歴史は、未来に向かつてさらに続くこととなります。同窓会組織も同様で、さらなる発展を期待しております。

あづま会の皆さまにおかれましては、このたびの連携に対してご理解いただき、本学院及び本校への変わらぬご協力をお願い申し上げます。

校・高等学校に発展させる」と発表された通りです。

現在社会では、情報化・多様化・グローバル化などが進行し、生徒の皆さんが生きていく将来には、変化と新しい課題が待ち受けているでしょう。職業や仕事のあり方、生活の仕方は大きく変わり、自分の頭で考え行動する創造的な力がいっそう必要になります。その多様な力を育てるために、今、日本の学校教育も変化が求められています。「正解」を教えこむような画一的なやり方を脱却し、個人の選択を重視し主体的な思考力を育てる教育に転換することが課題になっています。東京家政学院が法政大学と連携して進める教育の発展は、まさに時代の課題と正面から取り組もうとするものです。近年、本校が充実させてきたESD教育の探究活動などをさらに進化させ、カリキュラム改革・授業改革を進めてまいります。

大江スミ先生は、女性の参政権が認められず、「女性に初等以上の学校教育は必要ない」という考えが根強かった時代にあつて、理想とする女子教育を追求し、本学院を創立されました。時代の要請に応え前に進むその精神を受け継ぎ、本校の教育を前進させたいと考えております。私は、法政大学の付属校の教員・校長として、学校改革に携わってまいりました。非力ではありますが、そのような経験を活かし、教職員の皆さんと一緒に本校の発展のために力を尽す所存です。あづま会及びその会員の皆さまと手を携えて、生徒の皆さんの未来を創造する教育を展開したいと考えております。

今後本校への御支援を賜るよう、どうぞよろしくお願いいたします。

『Design for Change 主催 国際大会に参加しました』

中高教育研究係 川邊 健司

2025年11月28日(金)から30日(日)にかけて、Design for Change 主催の国際大会が開催され、本校の生徒たちが参加しました。本大会は、世界各国の子どもたちが社会課題に向き合い、「自分たちにできる行動」を考え、実践し、共有することを目的とした国際的な教育プログラムです。昨年度のドバイ大会では本校生徒2名が参加しました。今年度は、東京での開催となり、本校生徒がより多くの場面で海外から来日した同世代の仲間とともに活躍の舞台に登壇しました。

大会初日の11月28日(金)には、本校を会場としたスクールビジットプログラムが行われました。海外12の国や地域から来日した約160名の児童・生徒および引率者を迎え、本校の生徒が中心となって企画・運営を担当しました。スポーツを通じた交流、日本の学校文化を体験する制服試着、生け花などの日本文化紹介、高校3年生による「荒城の月」の舞の披露など、多彩なプログラムが実施されました。言葉の壁に戸惑いながらも、身振り手振りや笑顔で積極的に関わろうとする姿が随所に見られ、互いの距離が自然と縮まっていく様子が印象的でした。

11月29日(土)・30日(日)の国際大会本番では、国立オリンピックセンターに会場を移し、本校から約150名の生徒が参加し、これまで自主的に企画、準備を進めてきたSDGsに関連した探究活動やプロジェクトの発表、ワークショップ、パフォーマンスなどに取り組みました。自分たちが取り組んできた活動を世界の仲間に向けて発信する経験は、生徒にとって大きな挑戦であり、自信につながるものとなりました。また、他国の生徒の発表を通して、同じ課題でも国や地域によって視点やアプローチが異なることを学び、多様性への理解を深める機会にもなりました。

今回の国際大会への参加を通じて、生徒たちは「社会は自分たちとつながっていること」「一人ひとりの小さな行動が変化を生み出す力になること」を実感したようです。仲間と協力し、相手を尊重しながら意見を交わす経験は、教室内の学びでは得がたい貴重な成長の機会となりました。本校では今後も、Design for Changeをはじめとする探究的・国際的な学びを通して、生徒が主体的に考え、行動し、社会と関わっていく力を育んでいきたいと考えています。今回の経験が、生徒一人ひとりの今後の学校生活や将来への一歩につながることを期待しています。



『笑顔溢れる体育祭』

保健体育科教諭 大北京子(平成14年卒)

常磐祭第一部体育祭が九月十日(水)東京武道館で行われました。体育祭を企画・運営する中高体育委員会では、今年度のコンセプトを『戮力協心』としました。この言葉には、昨年度より結成した家政学院を応援する応援団や新競技において、一致団結して成功させたい!という思いが込められています。部活動の練習や試合で忙しい中、放課後や夏休みなど、多くの時間を使って、新競技の準備や応援団の練習を行って、学校全体が笑顔で楽しめる体育祭を考えました。そして、各クラスで制作したオリジナルの旗を先頭に、全校一斉の入場行進で始まった体育祭。本部の校長先生の前では、クラスごとにユーモアのあるパフォーマンスを披露していました。

開会式後には、応援団が、夏休みに練習を重ねたTKGソラン節を披露し、各学年にエールを送りとても盛り上がりました。競技が始まると、どの競技もとても熱い女同士の戦いが繰り広げられました。

中学二年生、三年生による「みのり」では、元氣いっぱい秋の稲穂を表現した演技を見せてくれました。昼のアトラクションでは、各クラブによる演技発表や、クラブ対抗リレーがありました。最後の種目では、高校三年生全員による伝統を受け継ぐ演技「荒城の月」を披露しました。

今年も高二の三学期から練習を始めて、難しいカウントを何度も何度も繰り返し練習して生徒同士で教え合う姿はとても素敵な光景でした。本番は緊張感に包まれながらも、一体感のあるしなやかな踊りで会場の在校生・保護者を魅了する素晴らしい演技でした。

私は、自分でも踊った荒城の月を手塚雅子先生より指導を受け継ぎ、七年目になりました。自分で踊るより何倍も緊張感のある本番の演技では、毎年生徒たちの成長に胸が熱くなります。卒業生として教師として、生徒たちと一緒に行事を創り上げるこの素敵な環境下に感謝の気持ちでいっぱいです。

生徒たちの頑張る姿は、一人一人本当に輝いており、自分の持っている力を存分に発揮した笑顔溢れる体育祭になりました。今回の体育祭で見せてくれたパワーをこれからの学校生活でも発揮してほしいと思います。

『全国初の女性消防長』



卒業生のページ

昭和60年卒 鈴木亜弥子(旧塙)

卒業から年月を重ね、母校で過ごした日々を振り返ると、当時の一つ一つの経験が、今の自分を形づくる確かな土台になっていることを実感します。卒業だけでなく、部活動や学校行事や友人との交流、時には失敗や挫折を味わった時間の中で、「仲間と協力することの大切さ」や「困難から逃げずに向き合う姿勢」を学びました。思うような結果が出ず悩みながらも、自分なりに考え行動した経験は、忍耐力や判断力となり、今でも責任ある決断を求められる場面での大きな支えとなっています。何気ない日常の積み重ねこそが、人を成長させるのだと、今になって強く感じています。

現在は、川口市で女性消防長として地域の安全と安心を守る責任ある職務に就いています。火災や救急、自然災害への対応に加え、平常時の訓練や防災指導、職員の育成、組織運営など業務は多岐にわたります。一つの判断が人命に直結する場面も少なくなく、常に緊張感と使命感を持って職務に向き合っています。

女性として消防の世界に身を置く中で、壁を感じたこともありましたが、周囲の理解と支援、そして自らの努力によって道を切り開いてきました。地域の皆さまから寄せられる信頼の言葉や感謝の声は、職員一同の励みであり、消防という仕事の重みと誇りを改めて実感する瞬間でもあります。

後輩の皆さんへ。将来に不安を抱いたり、自分の進む道に迷ったりすることは、決して特別なことではありません。しかし、目の前のことに真摯に取り組み、仲間と支え合いながら過ごした時間は、必ず皆さんの力になります。遠回りに思える経験も、後になって大きな意味を持つはずです。母校での学びと出会いに誇りを持ち、自分を信じて一歩ずつ前へ進んでください。皆さんの未来が実り多いものとなることを、心から願っています。



『伴参会』

途絶えるこのない交流の軌跡

昭和48年卒 川上 乃子(旧小山)

私たち昭和48年卒業生が、高校1年生の時のクラス会の1回目を開催したのは、1995年41才の時のことでした。それ以来、毎年欠かさずことなく集まりを続け、今年で31年目になりました。私たちは常に「顔を合わせることを大切にしてきました。そんな私たちにとって近年のコロナ禍は、大きな試練となり一時中断を余儀なくされ、もどかしい日々を過ごしつつ「早くみんなの笑顔が見たい」という声が続々と上がりました。その切実な想いが、力となりコロナ禍後2回の開催を実現することができました。久しぶりに再会した仲間の顔ぶれは、空白の時間を一瞬で埋めてくれる程の温かさで、絆の深さを実感しました。さて、私たちのクラス会には「伴参会」という素敵な名称があります。この名前は、第1回の「1年B組クラス会」を終えた後に出されたアイデアがきっかけでした。担任の「伴先生(現86才)のもとに集まる会として晩餐会のように賑やかな会」ということで「伴参会」と声があり、素晴らしい！と一同が賛成し、この素敵な会の名前が誕生しました。これまで開催場所は、関東近郊で行われており、時には伴先生の居住されている仙台近郊で2回、伊豆や箱根などにも宿泊を兼ねた旅行もあり、その時はまるで修学旅行のように夜が更けるまで語り合い、伴先生を囲んで過ごした時間は、私たちにとってかけがえない財産となりました。卒業から半世紀近くが、経過しましたが、私たちは、今もなお、この「伴参会」を通じて繋がりが続いています。年齢を重ねることに、学生時代の仲間と語らう時間の尊さは増すばかりです。これからも、健康に留意しながら一回一回の開催を大切にしていきたい、そしてまた次の「伴参会」で元気な笑顔で会うことを心から楽しみにしています。





昭和53年卒 博林 美子

東京家政学院高校、たった3年間だけなのに、今振り返ると思い出深いことがいっぱい。先ず入学したきっかけは、姉が高校・短大に通っていたから、と単純な理由だった。

入学当時は「ごきげんよう」がなかなか口から出てこなくて困った、余りにも馴染みがなくて気恥ずかしかったのかな。でも、あつという間に馴染むと、登校・下校時、先生や先輩、後輩にも同じ挨拶でなんて素敵に言葉なんだろう。当時私は姉からの音楽の影響をかなり受けていたので、私は姉と同じフォークソング部に入部した。夏休みに蓼科山の家で合宿をしたり、文化祭では野外ステージを作りライブもやった。同じく文化祭では、校庭に布を敷いて友人達とヤットコとペンチでアークセサリーを作り、販売もした。当時の表参道などで見かけるこれぞ70年代という雰囲気を出したのかしら？ どちらも拙かったけれど楽しかったな。蓼科旅行では、夜毛布を持って外で寝転がり、まるでプラネタリウムの様な星空を眺めた。帰り道が何故か肝試し風になって、キャーキャー騒ぎながら山の家に戻ったの思い出す。修学旅行は九州、バスでの移動中ガイドさんの話を聞かないで寝てるなんて、と担任の笠原先生に叱られたっけ。寒い冬の休み時間に教室の後ろで、みんなでディスコダンスを踊った、暖をとっていたのかしら？ 今は授業にダンスが入っている時代、私達は時代の先取りをしていたのかも。

ここからは卒業後の私事の話の少し。卒業して程なく、縁あって「mcs Sister (エムシーシスター)」という雑誌のモデルを始めた。有難いことに1980年に入り「an・an (アンアン)」やその他ファッション誌、ファッションショー、コマージュなどの仕事もするようになった。そして高齢者という肩書きがついた翌年からショップチャンネルという通販番組で、私のブランドプロデュース「エヴァアグリーンエヴァアモア」の洋服販売を始めた。

50年程前、どんな高校生活を送るのだろうか、好奇心いっぱい入学式に出た私、現在も好奇心は衰えることなく、これからもドン・ドン新しいことにチャレンジしたい。

今振り返ると高校生活ってあつという間の時間、在学生のみなさん、大いに勉強し思い切りはじめて色々な事を学んでください。本当にあつという間です。



『あづま会の活動より』

大江先生のお話とお墓参り

酷暑を予感させる6月30日、中学一年生に道徳の授業の一環としてあづま会の田宮副会長が大江スミ先生について講話をされました。スライドを交えながらの丁寧な説明を、熱心に聴く生徒さん達の真剣でひたむきな姿勢が印象的でした。講話後には大江先生への多くの質問が寄せられ、時間が足りなくなるくらい活気あふれる授業となりました。また、11月10日には中学一年生が災害に備えサバイバルウォークをかねて学校から班に分かれ、さまざまな経路で青山墓地まで歩き、その後、大江先生のお墓参りをあづま会役員も一緒にしました。生徒さん一人ひとりが丁寧に大江先生のお墓にご挨拶して語りかけながらお墓参りをする姿を見て、心が洗われるようなさわやかな気持ちになりました。(大江スミ先生 昭和23年1月6日没)

いつの時代にも役立つ大江スミ先生のことば

2016年よりあづま会では、大江スミ先生の格言を載せたカレンダーを作成しています。大江先生が生徒さんに常日頃より話していた言葉を記しています。毎年、中学高等学校の教室に備え、このカレンダーの言葉を道徳の授業に活用して下さる先生方がいらしています。大江先生のお考えにふれることの出来る貴重な時間だったと思います。



- 二月 「家庭生活における 技術を磨くこと」「人に信用される人間になれ」「人の嫌がることは先に立って自らするように」
- 三月 「言葉(言葉) はきれいに使ってください」「環境に負けず環境を支配していく人になれ」「この世に不思議はない」
- 四月 「やかんを持ったら土瓶敷とピンとこなければ駄目です」「いつも背水の陣を以て生活しなさい」「客はねんごろにもてなせ」
- 五月 「愛と奉仕の精神」
- 六月 「物事はベターではなくベストを盡す」
- 七月 「金槌と釘」
- 八月 「大穴主義」
- 九月 「先ず小言に忠実なれ」「筋芋は嫌われる」「謙遜と不遜」
- 十月 「つもり教育はず料理」
- 十一月 「入るを計って出づを制す」「お手洗いの掃除をよくやり、使った後はかならず後ろを振り向いて見るように」
- 十二月



『令和7年 第61回 常磐祭』

仲間と共に創り上げる重要なイベントである常磐祭。
体育祭・文化祭ともに生徒達の熱い気持ちが、想いが伝わってきました。

第1部 体育祭 会場：東京武道館

2025年9月10日

足立区綾瀬にある東京武道館において体育祭が開催されました。午前9時半の開始時間前には強い日差しが照りつけていましたが、会場は空調のきいた室内体育館。快適な環境の中、生徒たちの熱気にあふれた競技が繰り広げられます。

今年のテーマは「戮力協心」。全員の力を一つに合わせ、協力し合う意味があります。クラスごとに緑、白、青、赤の4組に別れ競いましたが、組を超えたエールも随所に見られました。午前の部では「キユートなパンツはビッグなパンツ」(デカパンリレー)が中学全員のクラス対抗で行われました。走力はもちろんのこと、デカパンの着脱の速さも大事な要素となります。各チーム着脱に手間取る中、全6チーム中2位に中学1年生が入りました。大健闘です。その後、高校生の競技が続きます。高校2年の「つなひけ」は、トラックを半周走った後に綱引きをします。綱を引く力の強さだけでなく、どれだけ速く走り、先に綱を引き始められるかにもかかっています。徒競走と綱引きを一度に味わえて楽しく観戦できました。中学選抜では、「カフエリーヌからのお届け物」。各チーム左右に別れ箱を運ぶのですが、箱の数が1つずつ増えていきます。最後は6つの箱を重ねて落とさずに、かつ速く走ったチームが勝ちます。1位は中学3年生。1回も箱を落とさず運べ、かつ走りも速くお見事でした。

高校選抜は「スウェーデンリレー」。昨年は、あっさり勝敗が決まり、印象が残らず中学生の「みのり」にもっていかれました！とマイクを通して話していましたが、最後まで結果の分からない真剣な競り合いが繰り広げられて、とても盛り上がりました。午後に入り高校3年生のクラス対抗リレーでは、生徒のチームだけでなく先生のチームも加わります。子どもたちをチラチラ見ながら強弱をつけて走っています。時には同走の生徒に発破をかけ、時には真剣勝負で生徒を追い抜きます。先生チームと一緒に走った記憶は大切な思い出になるでしょう。

中高選抜での「4色対抗リレー」では、ゴールテープを切ったのが赤チームが先か、青チームが先か、ほぼ同時のようにも見えてしまうほど白熱したレースとなりました。僅差で2位となったチームはとても悔しかったと思います。が、真剣に取り組み、1位を目指していた真つ直ぐな気持ちがとても伝わりました。

それぞれ午前のラストは「みのり」、午後のラストは「荒城の月」です。テーマの通り、全員の力を一つに合わせ、協力し合って1つの演目を完成させた姿が見られました。

生徒たちの姿に心打たれる体育祭は、卒業生はどなたでも入場可能です。おひとりさまでも、ご友人とでも、おひさまと一緒にでも、いつでもお越しください。一緒に声援を送りませんか。



高校3年生「荒城の月」

第2部 文化祭

2025年10月4日・5日

『青瞬!』

「青春は一瞬!」一生に一回しか一瞬しか、味わうことのできない「青春」だから、全力で楽しみたい。最高の「青瞬」となるようにと想いを込めて、このテーマができたそうです。

青の爽やかなウエルカムゲートで皆さまをお迎えしました。生徒達の様々な趣向を凝らしたイベントがたくさんある中で、2つの「プロジェクト」がありました。(Foodレスキュー)と《届けよう服の力》です。食品と子ども服を集めて、ボランティア活動団体を通して配布するこの活動は、社会に貢献する姿勢に目を引きました。

あづま会の展示は、テーマは「**修学旅行**」。卒業アルバムからさがし出し、一覧表と写真をパネルにしました。当時の「旅のしおり」を大切に保管していた卒業生からお借りでき、なつかしいとの声が聞けました。講習会は、「ボンボンクリスマスリース」と「虫よけスプレー」。毎年、手作り品は完売です。手作り品を考案用意することは大変ですが、作られた方々の満足な笑顔を見るとよかったです。今年は何にしましょうか？

卒業生、在校生、そして見学に来られた方々に楽しんでいただける部屋として、あづま会一同、今年も心からお待ちしております。



2025年あづま会総会・懇親会のご報告

2025年5月25日、大江スミ記念ローズホールにおいて、総会・懇親会を無事開催することができました。今回は来賓を含めて65名のご出席をいただくことができましたこと、心より感謝申し上げます。

今回の総会をもちまして、澤田三和子第10代あづま会長、会計 斎藤節子さんが役員を退任されました。澤田会長には14年、斎藤さんには17年、あづま会へご尽力いただきました。心より感謝申し上げます。

ほか、議案に沿って議事がすすめられ、左記について承認を得ることができました。

1. 2024年度 会務報告
2. 2024年度 会計報告及び会計監査報告
3. 2025年度 会務案及び会計予算案
4. 会則改正 終身会費を2万円から2万5千円とする
5. 役員改正

当日は、昭和50年卒、平成7年卒の方々を中心に18歳から97歳まで、幅広い世代の方にご参加いただき、プレゼント抽選会や校内見学会を行いました。校内見学会では、役員の明るく笑いあるガイドにより、急遽あづま会役員室が見学コースに加わりました。予定にはなかったため、そこには無事に総会・懇親会運営をやり遂げ、気の緩んだ役員たちが、!! だいぶ慌てましたが、楽しいひとときでした。

また、来賓あいさつでは、小泉起代元教頭先生（家庭科）より、中学・高校には、いい教員が揃っています！との太鼓判をいただきました。2025年度は、中学3学年ともに40人を超え、高校では1年生が100人を超えました。先生方が総会で学校PRに走り回ってくださっています。ぜひ、文化祭やあづま会総会を通して三番町へお越しいただき、今の家政学院をご覧くださいませ。今年も総会でみなさまにお会いできることを楽しみにしております。



『あづま会奨学金授与』

あづま会では毎年一学期末の三者面談後に、奨学金授与を行っています。この制度は、2009（平成21）年から始まり今回で16回になり、16人の優秀で素敵な生徒さんにお目にかかったことになりました。

2025年度のあづま会奨学金授与者は、高3D組 井上夢菜さん

担任の岩崎先生の推薦書によりますと「学業成績は学年で最上位に位置し、勤勉で人物も大変優秀な生徒です。特別活動では放送委員、文化祭バザー委員、軽音楽部に所属し、熱心に活動しています。広く社会の動きを捉えることのできる知識を持ち、その知識を実生活に活かすことのできる技術を身につけており、またそれらを周囲の人々の幸せのために活用したいと願う心、徳性も身につけており、まさに本校の建学の精神である「KVA精神」を持った人物であります」

学業成績や特別活動での活躍はもとより、人間性が高く評価されました。お母様は、学校での評価を知りお喜びでした。

小さな頃から、ピアノのケースなど持ち物はお母様の手作りの品でした。お母様の影響もあり、ご自身も手芸が好きで自由研究でたくさんのお品を作りました。これが家政学院の志望動機になりました。

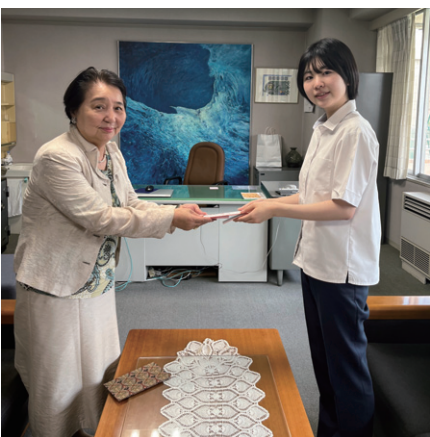
家では、お母様との会話は多く何でも話し合える関係にあり、弟さんがおられますが「お姉さんだから」との区別はなく育てたそうです。

性格は、自信がなく目立つ方ではありませんが、思った事を継続出来るように努力し、真面目で素直。さっぱりした男の子みたいなタイプだそうです。

部活は軽音楽部で、文化祭では校庭のステージに立ちました。ギター、ボーカル担当。「ステージ上でお話することが好き！」と、とびっきりの笑顔で話されました。今、女高生の間ではバンドを組むことが静かなブームになっている事を後日知りました。

学業は、アドバンストコースで英語、国語、日本史でトップ。進路は社会学部、経済学部志望とのこと。将来の夢に向けて持ち前の力で努力し、豊かな心を育むことを願っています。

吸い込まれるような笑顔の素敵な夢菜さんでした。



2025年度 卒業生入試合格先一覧

(2026年2月末現在)

大学 (大学名)	学部名	学科名	人数
東京家政学院大学	人間栄養	人間栄養	2
亜細亜大学	健康スポーツ科	健康スポーツ科	1
桜美林大学	教育探究科学群		1
大妻女子大学	家政	児童	1
大妻女子大学	家政	被服	1
大妻女子大学	家政	ライフデザイン	1
大妻女子大学	社会情報	社会情報	2
大妻女子大学	人間共生	共生デザイン	1
大妻女子大学	家政	ライフデザイン	1
学習院大学	国際文化交流	日本文化	1
神奈川県立保健福祉大学	保健福祉	栄養	1
北里大学	海洋生命科		1
共立女子大学	家政	被服	1
こども教育宝仙大学	こども教育	幼児教育	2
駒沢女子大学	看護	看護	1
駒沢女子大学	共創文化	心理	1
駒澤大学	文	国文	1
実践女子大学	国際	国際	1
淑徳大学	総合福祉	教育福祉	1
尚美学園大学	美術情報	情報表現	1
昭和女子大学	国際	国際教養	1
昭和女子大学	人間文化	歴史文化	1
白百合女子大学	人間総合	初等教育	1
成蹊大学	文	現代社会	1
成蹊大学	理工	理工	1
成蹊大学	経営	総合経営	1
清泉女子大学	総合文化	国際文化領域	1
清泉女子大学	総合文化	総合文化	1
創価大学	経済経営	ビジネス	1
宝塚大学	東京メディア芸術		1
玉川大学	農	先端食農	1
帝京科学大学	医療科学	医療福祉	1
帝京大学	医療技術	看護	1
帝京平成大学	健康医療スポーツ	看護	1
帝京平成大学	人文社会	教育	1
東京家政大学	栄養	管理栄養	1
東京家政大学	児童	児童	1
東京経済大学	現代法	現代法	1
東京国際大学	言語コミュニケーション	英語コミュニケーション	1
東京電機大学	未来科学	建築	1
東京都立大学	健康福祉	看護	1
東京農業大学	生物産業	食香粧化	1
東洋大学	健康スポーツ科	栄養科	1
東洋大学	福祉社会デザイン	人間環境デザイン	1
日本社会事業大学	社会福祉	共生社会デザイン	1
日本女子大学	家政	家政経済	1
日本女子大学	人間社会	心理	1
日本女子大学	文	日本語日本文	1
日本女子大学	理	化学生命科学	1
日本女子大学	理	数物情報	1
日本女子大学	文	英文	1
フェリス学院大学	グローバル栄養	国際社会	1
文化学園造形	建築・インテリア		1
文京学院大学	保健医療技術	看護	1
法政大学	法律		1
武蔵野大学	法		1
横浜美術大学	美術	美術デザイン	1
和洋女子大学	AIライフデザイン	AIライフデザイン	1
和洋女子大学	国際	英語コミュニケーション	2
和洋女子大学	人文	日本文学文化	1
短大			
戸板女子短期大学	国際コミュニケーション		1
東京歯科大学短期大学	歯科衛生		1
目白大学短期大学部	製菓		1
専門学校			
東京ビューティーアート専門学校	美容		1
文化服装学院	ファッション工科専門課程		1

同封の払込取扱票に口数(1口¥3,000) 金額、会員番号(住所ラベル右下に記載)住所、氏名、電話番号をご記入の上お振込みをお願い申し上げます。

2025年度活動協力費にご支援いただいた方々(敬称略)

123件 合計¥541,895 (2026年2月末現在)

あたたかいご支援を誠にありがとうございました。



振込み方法

少子化対策が問われる中、先生方のご指導とご尽力、また昨今の在校生皆さんの多
 方面での活躍により生徒数は回復の兆しがみえております。卒業時納入の終身会費で
 運営しているあづま会にとって、卒業生の増加は直接活発な活動に繋がります。

一昨年の文化祭の折、教室の前に置いてある「同窓会あづま会」の看板を熱心にご覧
 になって、入試説明会にいらしたと思われる親御さんがいらつしやいました。「看
 板の写真を撮っても良いですか?」とのことでした。何に興味を持たれたのか伺
 いましたところ「卒業生が在校生と一緒に文化祭に参加していることが珍しく、学校
 の伝統を感じました。」とのことでした。

伝統は守るだけでなく、新しいことに挑戦して取り込んでいくことが重要です。
 今の在校生の皆さんは、学校を取り巻く地域との連携、又は全国大会やインターハイ
 出場など、そとに向けての発進力はめざましいものがあります。

2023年に「東京家政学院創立100周年」の大きな周年記念行事を皆様のご支援に
 より無事に終えて、今後は周年行事の備えと共に、在校生の活躍を出来る限り応援を
 したいと思います。

母校の益々の発展を願ひまして、今後もお一層のご支援を賜りますよう宜しくお願い
 申し上げます。

『活動協力費のご報告とお願い』

山	関	S	山	杉	鈴	中	S	西	S	岩	S	丸	S	生	中	S	藤	S	山	S	湧	S			
中	原	38	田	崎	木	西	37	尾	36	垂	35	山	34	井	江	33	田	25	羽	24	井	21			
の	暁	卒	慶	功	好	和	卒	加	卒	愛	卒	喜	卒	和	和	卒	萬	卒	啓	卒	た	卒			
り	子		子	子	子	子		子		子	美	美	子	子	子	里	子	子	子	子	ね	子			
尾	渡	増	森	島	河	S	牛	堀	一	羽	S	清	加	竹	S	大	齊	澤	山	原	井	佐	桐	番	S
崎	辺	井	本	田	野	44	田	部	ノ	崎	43	水	藤	澤	42	野	藤	田	村	澤	上	野	生	場	39
田	克	和	ふ	由	容	卒	美	み	瀨	晴	卒	由	恵	眞	卒	祝	節	三	正	久	定	紀	春	恒	年
実	子	子	み	美	子		佐	どり	枝	美		布	子	知	子	子	子	和	子	子	江	子	江	子	子
松	田	清	竹	北	野	仲	四	赤	伏	井	野	小	田	S	倉	S	高	内	小	S	大	村	田	S	S
本	宮	水	山	村	口	沢	電	沼	見	田	野	林	中	48	田	47	橋	藤	野	46	山	西	中	田	45
綾	知	康	芳	陽	典	広	敦	郁	淑	恵	恭	順	文	卒	子	卒	公	知	田	卒	正	美	中	子	年
子	子	代	枝	子	子	子	子	季	子	子	子	子	子	卒	子	子	三	津	田	卒	子	子	子	子	年
天	鈴	S	久	田	清	S	鈴	久	S	榎	S	鳥	品	S	坂	S	山	高	印	S	武	鹿	中	中	S
野	木	53	保	代	水	52	木	保	51	本	50	居	田	50	部	49	山	橋	牧	49	田	野	谷	谷	年
万	早	卒	田	恵	由	卒	茂	田	卒	純	卒	礼	恵	卒	繁	卒	岡	順	久	卒	雅	和	子	子	年
寿	白		美	子	美		子	千		子		子	美		美		洋	子	美		子	子	子	子	
子	合		和	子	和		子	恵		子		子	美		香		子	子	美		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			京	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	
			子	子	子		子	子		子		子	子		子		子	子	子		子	子	子	子	



2026年度

あづま会会員証

有効期限 2027年3月

会員番号: _____

会員氏名: _____

キ
リ
ト
リ

左記の会員証は切り取ってご本人のみご使用ください。

この会員証は、この用紙で紹介されている加盟店で提示すると、特典があります。

お電話でお問い合わせする場合は必ずあづま会会員であるとお伝えください。

なお、有効期間は2027年3月までです。

東京家政学院高等学校同窓会あづま会 ☎03-3288-2623

加盟店システムをご利用ください。(光塩会・あづま会会員証提示)

加盟店のオリジナルサービスが受けられます。東京家政学院同窓会(光塩会・あづま会)が作ったシステムです。九段商店街振興組合「ステージナイン」も企画に賛同しご協力いただいております。小さなお買い物でもご活用いただきたいと思ひます。

加
盟
店
の
一
覧

■ユニオン・ミュージック・プロモーション■ 新井ゆみ(大家6)

「JAZZ LIVE HOUSE コットンカフェ/ジャズミュージックスクール」

〒355-0001 埼玉県東松山市岡 39-2 ☎ 0493-39-5566 FAX 0493-39-5569 unionmusic@ybb.ne.jp

特典:音楽スクール入学金半額免除・ライブハウス入場ワンドリンク無料

■ワミレスサロン善行 Mahalo -フェイシャルエステ プライダルエステ ワミレス化粧品-■ 水戸聡子(短英6)

〒251-0871 神奈川県藤沢市善行 7-7-8 第2 藤ビル 203 ☎0466-81-9854

特典:フェイシャルエステトリプルトライアル¥2,160 でご提供、プライダルエステご相談ください。

■すぎ亭 吉寅■ 吉崎美栄(S33年卒/短9)

〒350-0062 埼玉県川越市元町 1-9-3 ☎ 049-222-0102 営業時間 11~21時(ラストオーダー 20時半) 定休日 月曜

特典:ウーロン茶1杯サービス

■(株)山英一緑茶製造・販売■

故桑野先生(短大助教授)との共同研究によって生まれた食用のための茶葉で作った「食べるお茶」などの販売

〒436-0003 静岡県掛川市日坂 121 ☎ 0537-27-1024 FAX 0537-27-0566 <http://www.yamaei.net>

特典:商品価格を5%引き お問合せ ☎0120-27-1024

■HAYAMA SUNDAY シンプルで上質な生活雑貨■ 杉本伸子(S55年卒)

〒240-0116 神奈川県三浦郡葉山町下山口 1820-18 ☎ / FAX 046-897-6368 <http://hayamasunday.com/index.html>

特典:利用してのお楽しみ

■蓼科高原 バラクラ イングリッシュガーデン■ ケイ山田(S37年卒/短13)

本店:〒391-0301 長野県茅野市北山栗平 5047 特典:入園料30%引き

東京店:〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-28-1 佳秀ビルB1(JR千駄ヶ谷駅徒歩3分、代々木病院裏)

■ミエザ ホール■ 大久保恵美子(大家1)

〒183-0021 東京都府中市片町 2-21-1 ☎ 042-366-6316

特典:2,000円未満の備品が無料

■鎌倉山「樞亭」■ 岩村もと子(大現1)

〒248-0031 鎌倉市鎌倉山 3-1-1 ☎0467-32-5656

特典:「季節特典弁当」・会席「樞」⇒7%、会席「山椒」以上の会席料理⇒10%割引(*お蕎麦や甘味、一品料理は割引適用無し)

学院ホームページにデジタルアーカイブ掲載

大江文庫江戸期資料国文学研究資料館
東京家政学院 100 年史

三番町キャンパス周辺 加盟店マップ

キリトリ

有効期限 2027年3月



①アルカディア市ヶ谷



②さかぐち



③花省



④プリンテックス



⑤ききょうや電気



⑥宝来屋本店



⑦盛美カメラ



⑧九段プレジール



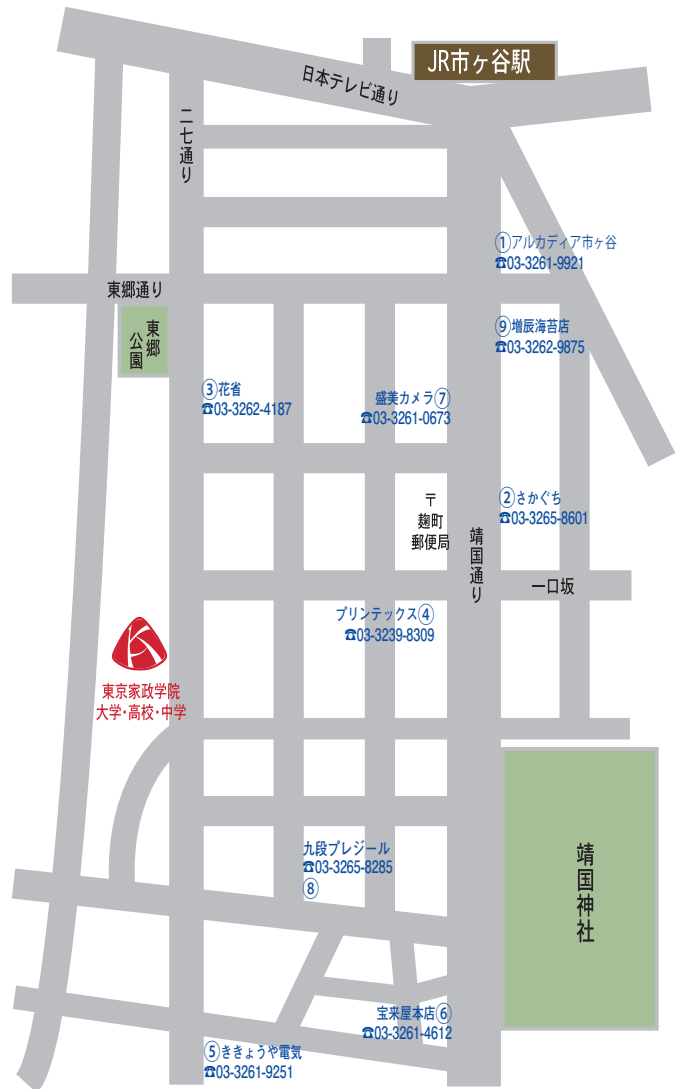
⑨増辰海苔店

●特典のご案内

- ① アルカディア市ヶ谷：宿泊・会議・宴会場利用割引有り 窓口：水野
- ② さかぐち：会員証提示の上5%割引
- ③ 花省：消費税分10%サービス
- ④ プリンテックス：印刷に関するアドバイス
- ⑤ ききょうや電気：電気に関するアドバイス 安心・安全を！
- ⑥ 宝来屋：スタンプカードに1ポイントプレゼント
- ⑦ 盛美カメラ：証明写真撮影等優待
- ⑧ 九段プレジール：ディナー時ワンドリンクサービス
- ⑨ 増辰海苔店：ご利用してのお楽しみ

●加盟店からのお願い

会員証を提示してください。ただし、特典は店舗によって異なります。



おめでとうございます

英国政府より

英国時間 2026年2月19日（日本時間 2月20日早朝）

ケイ山田氏 名誉大英勲章 MBE 受賞

ケイ山田（山田慶子 S37年卒）氏は、園芸家、ガーデンデザイナー、また日本初の英国式庭園である「蓼科高原バラクライングリッシュガーデン（於：長野県）」の共同オーナーとして30年以上にわたって日本における英国の園芸文化の普及と発展を牽引してこられました。

2027年にGREEN×EXPO2027で、日英友好をテーマに、最大規模の英国式庭園を日本政府・英国政府より依頼され展示予定。

各種連絡はこのページを切り取り FAX 又は郵送してください。
もしくはEメールでお願い致します。

宛 先 FAX 03-3288-2623
Eメール adumakai@kasei-gakuin.ac.jp

〒102-8341 東京都千代田区三番町 22 番地
東京家政学院高等学校 あづま会

あづま会 住所変更・改姓・物故者連絡用紙

卒業生近況報告

会員番号

(住所ラベルの右下にあります。必ず記入してください)

変更前住所・氏名

旧住所 〒

氏名(旧姓)

旧電話番号

変更後住所・氏名

新住所 〒

新氏名

新電話番号

連絡先

(携帯電話・メールアドレス)

※連絡先は、内容確認のため事務局から連絡させていただく場合がありますのでご記入ください。

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき、適正な取り扱いを行います。

通信欄

※近況報告(ボランティアや現在取り組んでおられること、お仕事・生活の様子など)をお知らせください。



こちらから住所変更が
できます

入学金優遇制度

この制度は、受験合格した入学生が、あづま会会員の三親等以内であれば入学金の半額を優遇するという制度です。お申し出用の書類がありますので詳しくは下記までお問合せください。

お問合せ先 中学高校支援室 (03-3262-2256)

ご退職の先生 令和8年3月

佐野金吾校長先生

佐野校長先生は、第一期1999年～2009年、第二期2020年～2026年の16年間、東京家政学院中学・高等学校発展のためにご尽力頂きました。心より感謝申し上げます。

2026年度常磐祭

体育祭：9月10日(木) 東京武道館(綾瀬)

文化祭：10月3日(土) 4日(日) 高校校舎

卒業生は入場出来ます。若い力を肌で感じてみませんか！
文化祭では、あづま会の部屋へぜひお立ち寄りください。

あづま会からのお知らせ

同窓会グッズ(校章入りタオルハンカチ 白・ピンク各¥1,000 あづりーヌコンパクトミラー¥350)を販売しています。ご希望の方は、住所、氏名、会員番号、電話番号、品、数を明記の上、メール・FAX・ハガキにてお申込みください。事務室には常駐者がおりません。対応に時間がかかりますが追ってご連絡いたします。

2027年のジョイント同期会について

2027年は、S52年・S62年・H9年に卒業した学年となります。卒業時に決めた各クラスの幹事(あづま会委員)は、下記の通りです。個人情報保護法や特殊詐欺防止対策、また携帯電話普及により連絡方法の多様化で固定電話による連絡が大変困難な状況になっております。各クラスの幹事の方へ12月頃にお手紙にてお知らせいたしますので、ご協力を宜しくお願い申し上げます。お引き受け頂ける方はあづま会までご連絡ください。

2027年ジョイント同期会の幹事(卒業時) 敬称略()内は旧姓

高校卒業年	クラス 幹事氏名	高校卒業年	クラス 幹事氏名
昭和52年	A組 横溝紀子(時川)	昭和62年	A組 宮塚ゆかり(吉田)
	B組 本田由利子(斉藤)		B組 水間麻衣(立川)
	C組 大友弘美(中川)		C組 春谷京子(高柳)
	D組 鈴木千草(中野)		D組 伊藤聡子(山田)
	E組 岩崎智子(瀧口)		E組 岩野和郁子(藤沢)
	F組 荒井洋子(池田)		F組 伊藤洋子(島野)
	G組 清水敬子(島田)		
	H組 五十嵐穂奈美(儀賀)		
高校卒業年	クラス 幹事氏名	平成9年	登録なし

編集後記

あづまだより第47号には、体育祭の記事が二つあります。一つは、卒業生でもあり現在保健体育科担当の先生である立場から、生徒全員で企画・運営して創り上げた体育祭の報告。もう一つは、同窓会役員が卒業生として応援して楽しみ、生徒さん達の成果を見届けた感想です。新しい競技、ネーミング、応援団、入場行進の仕方など随所に工夫が見られました。重複する点もありますが、視点の違いを感じて頂ければ幸いです。
来年度より、東京家政学院中学・高等学校は、新体制でスタートします。そして「あづまだより」は、学校の今をお届けします。ますます発展する母校を見守りください。

《総務事業》

2025年度事業報告

月	内 容
2025年4月	あづまだより第46号発行
2025年5月	2025年あづま会総会・懇親会開催
2025年7月	あづま会奨学金授与
2025年10月	第61回常磐祭参加
2025年12月	大江先生のカレンダー作成・配布
2026年2月	卒業記念品贈呈

2026年度事業案

月	内 容
2026年4月	あづまだより第47号発行
2026年5月	2026年あづま会総会・懇親会開催
2026年7月	あづま会奨学金授与
2026年10月	第62回常磐祭参加
2026年12月	大江先生のカレンダー作成・配布
2027年2月	卒業記念品贈呈



毎月1回 定例会開催(第2土曜日)

会員名簿の管理 ホームページ運用

校章入りタオルハンカチ・あづりーヌコンパクトミラー販売

《会計事業》

『2025年度決算書』

自2025年4月1日 至2026年3月31日

『2026年度予算案』

自2026年4月1日 至2027年3月31日

収 入 の 部		
項 目	2025年度決算額	2026年度予算額
前年度繰越金	25,988,841	26,765,525
卒業生入会金	1,750,000	1,975,000
総会懇親会費	228,000	200,000
常磐祭バザー収益金	91,245	50,000
活動協力費	541,895	500,000
奨学金募金	20,750	50,000
預貯金利息	25,773	30,000
雑収入	10,000	20,000
合 計	28,656,504	29,590,525

支 出 の 部		
項 目	2025年度決算額	2026年度予算額
総会懇親会費	284,761	300,000
常磐祭経費	82,950	100,000
総務費	597,436	1,092,000
広報費	822,072	1,000,000
奨学金	50,000	50,000
雑費	54,030	100,000
次年度繰越金	26,765,255	26,948,525
合 計	28,656,504	29,590,525

2026年3月31日 あづま会会長 高橋 公三子 ㊟

上記の通り報告致します。

会 計 田宮 知子 ㊟ 森 洋子 ㊟

監査の結果、相違ないことを確認致しました。

会計監査 伏見 淑子 ㊟ 黒光 恵 ㊟

役員紹介

会 長	高橋 公三子 (S46年卒)
副 会 長	堀部 みどり (S43年卒) 田宮 知子 (S48年卒)
会 計	森 洋子 (S53年卒) 田宮 知子 (S48年卒)
総 務	六鹿 清美 (S55年卒) 十河 由香 (H06年卒)
広 報	石川 直子 (S53年卒) 府中 ひとみ (S56年卒) 田宮 知子 (S48年卒) 堀部 みどり (S43年卒)
監 事	伏見 淑子 (S48年卒) 黒光 恵 (H06年卒)